



2026年6月20日 礼拝メッセージ 菅原亘牧師

みことば:第二ペテロの手紙1章16節～21節。

タイトル:「世界の終末とキリスト再臨の預言。

サブタイトル「世界の終末に関する象徴的な聖句研究。パート1」

火曜日に次週聖日礼拝メッセージを準備することになっていますが、昨日からアメリカ政府とイラン政府が休戦協定に向けて交渉が進展しているとのニュースですが、まだまだ安心できる内容ではありません。いつまた逆転が起きるか分かりません。薄氷の合意と言えます。世界の終末に突入しているのではと思いたくなる世界情勢です。預言から紐解けば艱難時代は7年間で、最後の3年半は大艱難時代だと理解されています。

1・ダニエル書9章25節～26節。

エルサレムの再建勅令:アルタシャスタ王(アルタクセルクセス王・ギリシャ語)。

ネヘミヤ記2章1節に登場のペルシャ王。

7週と62週=69週の後に油注がれた者が絶たれる。

エルサレム再建勅令:BC445年3月14日(1年を360日として計算)

69週×7年=483年後=AD32年4月6日(キリストのエルサレム入城の日)

2・ダニエル書9章26節～27節。

彼は(反キリスト)1週(7年間)の間多くの者と堅い契約を結ぶ。

反キリスト統治は7年と預言されている。

後半の半週(3年半)彼は信仰者を破壊する。大艱難時代到来預言。

3・ダニエル書7章25節～27節。

反キリストが試みようとするものの預言

時と法則を変える。聖徒たちを滅ぼす。しかし、彼は滅ぼされてしまう。

4・イザヤ書54章10節。

私たちへの愛は変わらず平和の契約は動かない

5・イザヤ書55章11節。

わたしの望むことを成し遂げる

6・イザヤ書46章9節～10節。

わたしは終わりのことを初めから告げる。わたしの計画は成就する。

7・オバデヤ書3節～4節。星と星の間に巣を張っても(宇宙ステーションか?)